

十二月町議会報告

町議会議員 常山 知子

十二月十一日～十二日の会期で皆野町議会定例会が開かれました。(会期は2日間でしたが、十一日ですべての審議が終了し、閉会となりました)一般質問は4名(小杉、常山、林、内海)の各議員が行いました。町長提出議案は11件でした。

〈主な審議内容〉

給食費が値上げ

議案33号

消費税8%の引き上げ、食材の価格上昇、地場産物・埼玉県産や国内産食材の調達が困難になったという理由で給食費の値上げが提案され、賛成多数で可決。

●幼稚園児・小学生(五百円UP)

二千六百元→四千四百円

●中学生(六百円UP)

四千二百円→四千八百円

平成二十七年四月から実施

○常山議員は、消費税8%増税された中で食材等の価格が上昇しているが、保護者に負担を求めるべきではない、子育て支援の町と

いうのであれば、給食費の値上げではなく、学校給食費免除(現在、3人目の子どもは免除)の枠を拡大していくのが町のやることではないかという考えで反対しました。(反対議員 常山、内海)

(賛成議員 9名)

長寿祝い金 77歳を除外

議案35号

現在、町では長寿祝い金を77歳・80歳・85歳・88歳・90歳・95歳・99歳・100歳に達した方に贈っています。

今回提出された議案は77歳の方の祝い金をおくる対象からはずすというものです。理由は高齢者人口の増加。賛成多数で可決。

○常山議員は、祝い金を受け取るのを楽しみにしている人もいるのではないかと。この祝い金は、町でも使える商品券です。地域振興のためにも、77歳をはすすのは反対。ぜひ続けていただきたいという考えで反対しました。

(反対議員 常山、林、新井 康)

(賛成議員 8名)



皆野町遺児手当給付

条例の廃止

議案37号

この条例は、ひとり親家庭、両親ともいない子どもに支給される町独自の現金給付手当です。

(月 二千元)

提案理由は、国の制度としての現金給付が充実しているため。平成二十七年四月から実施。

賛成多数で可決。

○常山議員は、何の理由にせよ片親で子どもを育てていくのは大変なことです。パートを何件もかけもちしてがんばっている親もいます。国の制度が充実していることで、いままで続けてきた町単独の手当を廃止することは、福祉を後退させること。という考えで反対しました。

(反対議員 常山、内海、林)

(賛成議員 8名)

皆野町歯と口の健康づくり

推進条例の制定

議案32号

平成23年、歯科口腔保健の推進に関する国の法律が制定されたのに基づき、町民の歯と口の健康づくりに関する基本理念を定め、

町の責務等を明らかにすること、町の施策の基本となる事項を定めるものです。

○常山議員は、質疑の中で、子どもたちの歯科検診はもちろんですが、住民健診の中に歯科検診も採り入れて取り組むよう要望しました。

全会一致で可決しました。

〈一般会計 補正予算〉

歳入

緊急雇用創出基金 県補助金 331万5千円

歳出

地域商店街活性化事業 補助金 100万円

道の駅みなの トイレ新築工事

補助金(事業費の半分) 2000万円